

★キス

ロシアのプーチン大統領と、アメリカのブッシュ大統領と、イギリスのサッチャー首相が、アメリカの美人歌手マドンナと一緒に電車に乗った。

電車がトンネルに入って暗くなった時、キスの妖しい音とその直後にビンタの音が聞こえた。

電車がトンネルから出ると、ブッシュ大統領が赤く腫らした頬を隠しながら周りを見ていた。

サッチャー首相はこう思った。

「このアホなブッシュ大統領が、マドンナにキスしようとして殴られたのね」

マドンナは思った。「この馬鹿なブッシュ大統領は、私にキスしようとして、暗いから間違っ

てサッチャー首相にキスしてしまい、殴られたんだわ」

ブッシュ大統領は思った。「プーチン君がマドンナにキスし、キスしたのは私だとマドンナは

思って、私を殴ったのだろう」

プーチン大統領は思った。「次のトンネルが来たら、またキスの音を立て、ブッシュの顔をも

う一度思い切り殴ってやろう！」

小学校の視察

ブッシュ大統領がカリフォルニアの小学校を視察し、生徒たちに「好きな質問をしていいよ」と言った。

一人の子供が手を挙げた。

ブッシュ 「まず名前を教えてください」

生徒「デヴィッドです。三つの質問があります。

1、なぜイラクで大量破壊兵器は見つからなかったのですか？

2、民主党のアルゴル・ゴアの得票があなたより多かったのに、なぜあなたが大統領になったのですか？

3、アルカイダのビン・ラディンは、なぜ見つからないのですか？」

質問が終わると同時に休憩時間のチャイムが鳴り、ブッシュは休憩の後に質疑を続けようと言った。

休憩の後、ブッシュ大統領がクラスに戻ると、もう一人の生徒が手を挙げて質問したいと望んだ。

ブッシュは、まず名前を教えてくださいと言った。

生徒「名前はジョニーです。五つの質問があります。

1、なぜイラクで大量破壊兵器が見つからなかったのですか？

2、民主党のアルゴル・ゴアの得票があなたより多かったのに、なぜあなたが大統領になったのですか？

3、アルカイダのビンニフディンは、なぜ見つからないのですか？

4、さっきの休憩チャイムは、いつもよりなぜ二〇分も早く鳴ったのですか？

5、デヴィッドは今どこにいるのですか？」

★第三次世界大戦

ある晩、アメリカのブッシュ大統領とイギリスのブレア首相が飲み屋に行った。二人が熱心に話しているのを、近くで飲んでいて日本の小泉前首相が気づき、近寄って「何の話で盛り上がっているんですか」と聞いた。

ブッシュ 「われわれは今、第三次世界大戦を計画している。その計画によって、一五〇〇万人のイスラム教徒と歯医者一人を殺すつもりだ」

「なぜ歯医者なの？」と小泉前首相が聞いた瞬間、ブッシュ大統領はブレア首相に向かって誇らしげに言った。

「はら言ったでしょう。一五〇〇万人のイスラム教徒が殺されても、誰も何も聞きません」

★女兵士

米軍に入隊したての若い女性が、女性先輩のところへ行った。軍隊で大勢の男性の中で上手くやって行くにはどうすればいいか、アドバイスを求めるために。

先輩はこうアドバイスした。

「多くの男たちの中で女性が仕事するのは、そんなに難しいことでもないわ。ただそれにはちょっとしたコツが必要。上司の男たちに対して、昼間はいつも『イエス・サー』、そして夜は『ノー・サー』と言うのです」

★実験台

イギリス人、アメリカ人、日本人、アラビア人が協力して最新の爆弾を作ることになり、それぞれの役割を決めることにした。

イギリス人「私は技術を提供しましょう」

アメリカ人「私は製造を担当しましょう」

日本人「じゃ私は金を出しましょうか」

それを聞いたアラビア人は言った。

「つまりこれは、私がまた実験台の役をやれという意味ですか？」

日本人についてこんな面白い言い方がされている。

「日本人は神道の習慣の中で生まれ、キリスト教の習慣の中で生き、仏教の習慣で死にます」

日本で宗教争いがないのはそのためかもしれない。日本人は人間が宗教のためにあるのではなく、宗教が人間のためにあると考えているように思える。日本人の考え方では、神様は人間の主人ではなく、人間や他の生き物の中に存在し、彼らと共存している。

一神教においては神様が圧倒的な存在で、人間は神の奴隷のようなもので、逆らうことは即ち地獄に落ちることになる。だから人間は神様を愛しているからではなく、恐れているから宗教の教えに従う例が多いのだ。

不二家事件

その後、会社の責任者たちがたびたび会見席上で苦渋に満ち重い頭を何度も深々と下げ謝ったにもかかわらず、世間は彼らに背を向け、まるで潰れよとばかりにアクションを起こした。日本社会はこの会社の全ての信用を一つのミスで切り捨てたのだ。

しかも日本ではこの「切り捨てること」が政府や誰か上からの命令ではなく、自然に人々の間で発生し、あっという間に全国に広がる。それで今まであんなに「おいしい、おいしい」と言っていたケーキがまるで毒のように扱われ、メーカーがたちまち悪者になる。おそらく他の多くの国では、同様の事件が起きたとしても、国民のあいだに話題が広がって同じ反応が出現するには、相当の努力と時間を必要とするに違いない。

一般的に男性の理想的な結婚相手の条件は、こう言われている。「美人で、優しくて、料理が上手で、夜の仕事も抜群」。しかしこの四つの難しい条件を全てクリア出来る女性を探すのは無理に近い話。

★アフガニスタンの女性

タリバン時代にアフガニスタン取材していた外国人記者が、タリバン政権崩壊後、再びアフガニスタンを訪れた。

記者は、女性の地位がタリバン後はどう変わったか取材した。

タリバン時代に彼は、女性が男性の数メートル後ろを歩いているのを見ていた。

しかし今度は、男性の数メートル前を女性が歩いているのを見て、不思議に思って近くの男に理由を聞いた。

「そりゃあ、タリバンが、崩壊前に町中いたる所に地雷を埋めたからさ」

ユダヤ人はこの諺をよく知っている。

「お金は必ずしも幸せを運んで来ないが、貧困は確実に不幸を運んで来る」

★13、14…

メキシコの村で、男が井戸の側に立ち「13、13、13、13、13…」とひたすら唱えていた。

井戸水を飲みに来たホセが不思議に思って、井戸の側のその男に、「なぜそんなに 13、13 と言っているんだい？」と聞いた。

男は、いきなり彼を井戸に投げ落として、「14、14、14、14、14、14、14…」と言った。

★女性と地理

一八歳～二一歳の女性は、国で言えばアフリカやオーストラリアに似ています。まだ発見されていない部分が多く、魅力的でワイルドな感じがします。

二一歳～三〇歳までは、日本やアメリカに似ています。全てが発見され、進歩の道を歩んでいます。ビジネス上手でいつでもいい取り引きが出来ます。

三〇歳～三五歳の間は、ブラジルやスペインに似ています。情熱にあふれ、落ち着きが出てきます。

三五歳～四〇歳は、フランスやアルゼンチンに似ています。戦争で半分やられたのに、まだ魅力が残っています。

四〇歳～五〇歳までは、ユーゴやイラクに似ています。戦いに負けて、過去の過ちを後悔しています。復興を必要としています。

五〇歳～六〇歳までの女性は、カナダやロシアに似ています。広くて静かです。国境の警備もほとんどやっていません。しかしあまりの寒さで人が近づきにくいようです。

六〇歳の時は、イギリスやモンゴルに似ています。在るのは、偉大な過去と見えない未来のみです。

七〇歳を過ぎると、アフガニスタンやアルバニアに似てきます。みんな居場所は分かるのですが、誰もそばに行く気がしないのです。

★女性とボールの関係

ある意味では、女性の一生とボールが似ていると考えられます。それを探ることにしましょう。

1、女性が一八歳の時は、試合中のグラウンドにあるサッカーボールに似ています。つまり二人の男性が彼女をゲットするために追いかけて、奪い合うのです。

2、女性が二八歳の時は、試合中のホッケーのボールに似ています。一人の男性が彼女をゲットするために追いかけて、奪い合うのです。

3、女性が三八歳の時は、ゴルフボールに似ています。一人の男性が彼女を追いかけて、それをゲットしようとします。

4、女性が五八歳の時は、戦争で使われる大砲の砲弾に似ています。危険なので、男は誰も近づく勇氣を持っていません。